

「平成25年度 読書室いきいきプラン事業」業務委託プロポーザル評価のポイント

業者名 (株)リブネット

	評価項目	評価内容	評価のポイント
1	事業者の経営方針および学校図書館運営業務に関する基本方針	・学校図書館業務を委託することにあふさわしい知識や経験等を会社が蓄積しているか。また、各校の学校図書館の現状を把握、分析し、生徒の読書活動や学習活動を推進させる施策を講じようとしているか。	長年、学校図書館の業務に従事してきた経験が経営方針に反映、生かされており、学校との連携を重視するという基本的な考え方と方向性が確かである。
2	学校図書館運営業務実績	・本業務と同様の受託実績があり、実績業務を委託するに適しているか。	1都2県273校の学校図書館業務を受託し、のべ1500校以上で学校図書館の運営を支援してきた実績は高く評価できる。豊富な実績とノウハウ・データを基にした、学校読書室のさらなる活性化に向けた取組に期待できる。
3	生徒の読書活動推進のための具体的方策	・生徒が学校図書館を積極的に利用したり、本に親しんだりするための創意工夫を講じることができるか。	司書が生徒へのブックトークや読み聞かせなどの高い技術を持っており、読書を通して感じたり、考えたりする力を育成することを重視している点が評価できる。テーマ展示コーナーや図書館イベントの充実など、生徒が本に親しむための創意工夫に努めている。
4	生徒・教師の学習および授業支援のための具体的方策	・生徒の学習サポートのための創意工夫を講じたり、教師の授業支援のための施策や情報提供を行うなど、連携を考えているか。	生徒への学習支援としてパスファインダーを整備したり、新聞を活用した取組を企画したりするなど、生徒自らが調べることであり、新しいことを知る楽しみを見出せるような工夫が講じられている。教員へのオリエンテーションの取組にも期待したい。
5	業務体制とバックアップ体制についての考え方と具体的提案	・学校図書館の業務を遂行できる人的体制があり、会社からの支援が確実に行われるか。また、司書の質を均一に保ちながら高度なサービスができ、迅速かつ的確な対応が可能であるか。	業務管理チームと学校図書館サポートセンターの2つのチームが連携して、スタッフの業務をバックアップする体制が構築されている。学校図書館サポートセンターサイトの活用により、業務の効率アップが期待できる。
6	司書および巡回指導員の資格と経験	・司書については、基本的に図書館司書の資格をもっていること、あるいはそれに準ずる研修を積み、生徒への対応、教師とのコミュニケーションや相談への対応ができるか。巡回指導員については、学校図書館司書業務のノウハウが十分であるか。	司書の継続雇用により、経験豊富なスタッフを揃えており、生徒への丁寧な対応と、一人ひとりに応じたきめ細やかな支援に努めている。研修制度も充実しており、スタッフ定着率が97%以上と高い。「学校図書館My☆Star制度」を導入し、スタッフのスキルアップに努めている。
7	図書の物流業務に関する具体的方策	・松阪市図書館等との連携を図り、各学校間との図書の物流業務に関する具体的な方策をもっているか。	市立図書館の団体貸出サービスを活用し、生徒が多彩な本に出会うことができる環境を整えたり、授業内容に即した資料収集に努めている。学校間での相互貸借については、市内中学校全体の読書活動の活性化につながるより具体性のある取組に期待したい。
8	個人情報保護に関する考え方具体的方策	・生徒の読書情報や個人情報を保護するための研修や個人情報漏洩防止策が十分であるか。また、万が一発生した場合の具体的な対応策をもっているか。	個人情報保護を重要視しており、毎年、全社員に対し業務開始前と業務開始後に研修を実施している。万が一、個人情報漏えいの事故等が発生した場合の措置についても、迅速に対応できる体制が確立している。